

満月の夜開く



けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」

昔から祭りは満月の夜に開かれてきました。“けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」“は、そんな満月の夜に「文明の未来と人類の幸福」について考える会です。高等研の庭にはゲーテの胸像があります。その視線は「フクシマ」のほうを見やりつつ、近代文明の現状を憂いているかのようにではありませんか。

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。ゲーテの胸像はその理念のシンボルです。今宵、ゲーテに立ち返りながら、近代科学文明のあり方を一緒に再考してみませんか。

(2013年8月21日開催の発足会案内より抜粋)

日時 2013年 **12月18日(水)** 18:00~20:30

場所 **公益財団法人国際高等研究所** コミュニティホール・庭園

講演 **近代科学をいかにして超えるか—自然と人間との関係性を考える— (Part I)**

「大地を造る力」

講師：**尾池 和夫** 先生

[要旨抜粋] 21世紀の人びとにとって、資源、エネルギー、地球環境の問題など、考えるべき課題があります。これらを考えるとき、地球のことを知らずに考えても無意味です。西日本で今後いくつかの活断層が動き、2040年頃に活動期のピークとして南海トラフの巨大地震と大津波が起こります。そのような地震を知って、震災に備えてほしいと思っています。このような具体的事例の理解から、天地人—三才の世界の仕組みを考え、大地の多様性を、この国際高等研究所で考えてきました。その成果をお話したいと思っています。

[講師略歴] 1940年生まれ。京都大学総長、国際高等研究所長などを歴任。現在は京都造形芸術大学長を務める。専攻は地震学。著書に「新版活動期に入った地震列島」(岩波科学ライブラリー)、「俳景(三)—洛中洛外・地球科学と俳句の風景」(宝塚出版)、「日本列島の巨大地震」(岩波科学ライブラリー)、「四季の地球科学—日本列島の時空を歩く」(岩波新書)、などがある。

参加費 **1,000円** (講演終了後の交流・懇談会費用を含む)

定員 **40名** (先着順)

申込 「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします



主催：公益財団法人国際高等研究所
満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」(略称：けいはんな「ゲーテの会」)

後援：木津川市、精華町

協力：ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川、ドイツ連邦共和国総領事館(予定)

事務局：公益財団法人国際高等研究所事業部(担当 竹島)

参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地
 公益財団法人国際高等研究所 事業部
 けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：竹島)
 E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 第5回 2013年12月18日(水)開催	
お名前	
ご所属	
部 署	
役 職	
連絡先	ご住所
	TEL FAX :
	E-mail

■ 会場案内

